

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.16 2012年8月31日号

編集:[editor@cna.jp](mailto:editor@cna.jp) 広告:[pr@cna.jp](mailto:pr@cna.jp) 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### AT&T ジャパン、相互接続性や映像性能ならびにオンデマンド会議機能を強化した新たなテレプレゼンスソリューションを発表

AT&T 社(日本法人:AT&T ジャパン株式会社)は、相互接続性や映像性能ならびにオンデマンド会議機能を強化した新たなソリューション「AT&T Telepresence Solution(AT&T テレプレゼンスソリューション)」を発表した。(米・日本:7月31日)

AT&T Telepresence Solution は、ユーザ側でビデオ会議端末やインフラの手配・導入・管理などを自前でやる必要がなくAT&Tでそれらをグローバルにパッケージとして提供するマネージドサービス。「AT&T Business Exchange」に登録することで、プレゼンテーションやデータ共有の会議のほか事前予約なしの多地点接続も可能。AT&T Business Exchange は、イントラの接続から、企業のイントラを越えた接続(企業間)、ポイント to ポイント、マルチポイントなどの接続を司る。

ユーザは、デスクトップパソコン、タブレット、イマーシブテレプレゼンスシステムなどの端末から、またネットワークについては、会社の VPN、インターネット、ISDN、WiFi、3G、4G、LTE などからアクセスして事前の予約なしでビデオ会議が行えるようになっている。端末の種類や接続方式の違いを問わず、ビデオ会議の柔軟性を高めたところに特長がある。

マネージドサービスは、「ビデオ・アズ・ア・サービス(VaaS)」として「Polycom RealPresence」ビデオソリューションに対応しており、他方、端末としては、シスコシステムズ社の「Cisco Telepresence TX9000」シリーズのほか、ポリコム社では、「Polycom HDX」、「Polycom OTX」、「Polycom RPX」に対応している。加えて、モバイルでは、「Cisco

Jabber Video for Telepresence」、「Polycom RealPresence Mobile」、「Logitech/LifeSize ClearSea」に対応している。その他、シスコやポリコムの、複数スクリーンタイプイマーシブ型テレプレゼンス端末間の接続には、TIP (Telepresence Interoperability Protocol) 接続となる。

AT&T 社によるポリコム社やシスコシステムズ社との戦略的な提携のもとに、AT&T Telepresence Solution は、サービス利用地域の拡大やシステムの信頼性・柔軟性の向上を継続的に図っている。現在、世界 80 カ国でサービスを提供しており、そのうち 40 カ国でエンド to エンドの完全なマネージドサービスの提供が可能となっている。

### ブイキューブのオンラインセミナー、タブレットやスマートフォンでの視聴可能、アマゾンクラウドプラットフォーム採用

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、同社のオンラインセミナーサービス「V-CUBE セミナー」の新バージョンを発表した。(8月1日)

新バージョンの特長は以下のとおり。(1) 受講側の端末として、iOSとAndroidモバイルデバイスに対応。オンデマンドコンテンツも視聴可能(iOS 端末のみ)。なお、iOS 版のアプリケーションは近日中にリリース予定。



iPadでの視聴イメージ(ブイキューブ 資料)

(2) ユーザーインターフェイスの改善。管理者画面を直感的で操作しやすいユーザーインターフェイスへ改善した。



管理者画面イメージ (ブイキューブ 資料)

(3) 録画コンテンツの編集機能を搭載。録画したセミナーのシーンの編集、資料の差し替え、チャットの編集、イベント削除、オンラインストレージとの連携、CSV でのスライドイベント一括登録などが行える。また、V-CUBE セミナー形式で録画されていない動画ファイルを利用してV-CUBE セミナー上にオンデマンドコンテンツを作成することができる。



録画コンテンツの編集イメージ (ブイキューブ 資料)

(4) オンラインストレージとの連携。V-CUBE セミナーで利用する資料や素材データをオンラインストレージに保存できる。保存されたファイルは適切なファイル形式に変換することが可能となっている。

(5) V-CUBE セミナーは、アマゾン社のクラウドサービス「Amazon EC2」「Amazon S3」「Amazon VPC」などのクラウドインフラを採用。大規模かつ安定したセミナーを国内のみならずグローバルへ配信することが可能になった。



ストレージ連携 (ブイキューブ 資料)

V-CUBE セミナーは、e ラーニングやオンラインセミナーを安価かつ簡単に運用できるように開発された双方向コミュニケーションシステム。最大で 10,000 拠点に配信することが可能。Word、Excel、Powerpoint、PDF を共有でき、チャット機能、発言ボタン、アンケート機能など対応。加えて、オプションとして、オンデマンド配信、シェアリング機能(講師のパソコン画面をそのまま表示)などもある。

### VTV ジャパン、ラドビジョン社製、HD テレビ会議システム「SCOPIA XT4200」の販売を開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、ラドビジョン社製テレビ会議端末「SCOPIA XT4200」の販売を8月8日より開始したと発表。(8月8日)



SCOPIA XT4200 (VTV ジャパン資料)

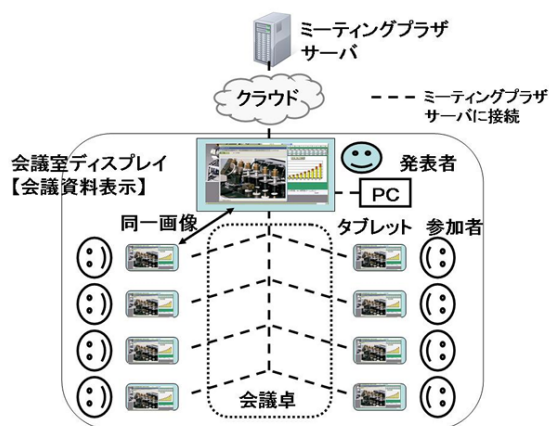
SCOPIA XT4200 は、H.264 SVC と H.264 ハイプロファイルを搭載し、HD(720p/60fps 送受信)でのデュアルストリーム(H.239)を実現したマルチベンダー対応のテレビ会議システム。また、音声については、20kHz の広帯域音声(G.719)に対応。カメラは、広角 PTZ カメラを標準装備。

VTV ジャパンでは、SCOPIA XT4200 を専任技術員による

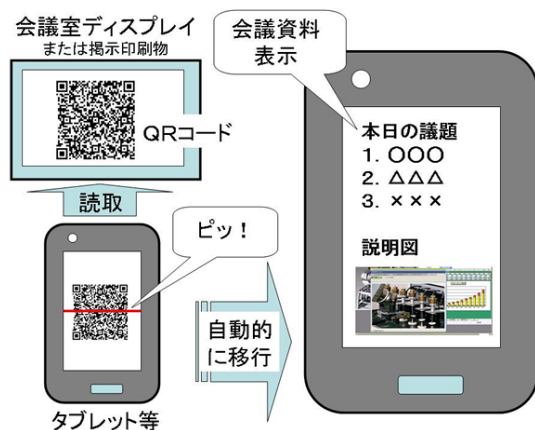
自社対応保守サービスとともに提供する。今後もテレビ会議・Web 会議を活用したビジュアルコミュニケーション環境の導入をサポートしていくとしている。

### NTT アイティ、タブレットやスマートフォンに対応し、QR コードで簡単に会議資料取得が行えるクラウド型ペーパーレス会議サービスを開始

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、QR コードで簡単に会議資料取得が行える「ミーティングプラザ ペーパーレス会議サービス」を8月8日より開始すると発表。(8月7日)



ミーティングプラザ ペーパーレス会議サービス利用イメージ (NTT アイティ資料)



QR コード操作イメージ (NTT アイティ資料)

ペーパーレス会議サービスは、会議における発表者の PC に表示した資料を、iPad、iPhone、Android タブレット/スマートフォン、Windows PC、Mac に配付・共有して会議を行

えるサービス。発表者の PC と参加者の端末は、クラウドを経由してミーティングプラザサーバに接続され会議を行う。

NTT アイティでは、多地点間で資料共有ができる技術を提供しており、このたびこの技術を応用して、タブレット等の画面に会議資料のみを配信する技術を開発した。

会議開催の手順は以下のとおり。(1)会議主催者は、サーバの Web 画面で会議を予約する。(2)そうすると、会議開催時間内のみ有効な QR コードと URL リンクが会議主催者に自動配信される。(3)この QR コードについては、会議当日に、会議室のディスプレイ(必ずしも必要ない)や掲示印刷物などに表示しておく。会議開催時間内のみ有効と制限をかけることができる。またパスワード認証も付加できる。(4)発表者は、当サービスに接続後、Windows PC から会議資料を開き、共有ボタンをクリック。(5)一方、会議参加者は、タブレット等でさきほどの QR コードを読みとり、会議資料を取得。画面に表示することで会議がスタートする。

なお、QR コード読取機能のない Windows や Mac での参加者には URL リンクを送信可能となっている。また、発表者が会議資料を変更・編集すると参加者のタブレットの内容は即座に変更される。加えて、配信された会議資料は会議終了時にセキュリティ保護のため消去される。

今回 QR コードを採用することで、私物のタブレット等も利用可能となり、社内会議に限らず、公開の講演会、セミナー、大学の講義などの広い範囲で使用することができるという。

初期費用は、30,000 円(税別)。月額基本料は、1,500 円/接続。使用時間制限なし。たとえば、発表者以外に 10 人が参加する会議の場合は、初期費用が 30,000 円で、毎月 15,000 円となる。また 100 人の場合は、初期費用は同じ 30,000 円で、毎月 150,000 円となる。なお、年間の一括払いの場合は 15%引きとなる。

NTT アイティは、年間 1,000 契約の販売を目標としている。

(次ページへ続く)

## 富士通ソーシャルサイエンスラボラトリーのペーパーレス会議システム「Web コア Conference」 多地点間同期オプションを販売開始

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(川崎市中原区)は、同社のペーパーレス会議システム「Web コア Conference」について、「多地点同期オプション」を 8 月 9 日から販売開始と発表。(8 月 9 日)



多地点間同期オプションイメージ (富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 資料)

多地点同期とは、複数の拠点(セグメント)間会議で資料のページ同期やポインタ同期が可能となるオプション。あらかじめ会議資料を端末内にダウンロードするため、分散した複数の拠点間でもほぼタイムラグのないページ同期が可能で、しかも、会議への参加拠点数あるいは参加者数に制限がない。よって、参加者の意思疎通を円滑にし、会議運営を効率化することができるとしている。

富士通ソーシャルサイエンスラボラトリは、Web コア Conferenceをテレビ会議や音声会議と併用して利用したいというユーザーの要望に応じて今回多地点同期オプションを開発したと説明している。このオプションの提供を通して、複数拠点をもつユーザーの会議運営の効率化を支援していく考えだ。

Web コア Conference は、紙の資料を不要とすることで、情報漏えいのリスクを排除したり効率的な会議運営を実現するペーパーレス会議システム。iPad、Android、Windows 端末に対応しており、混在運用も可能となっている。

Web コア Conference の販売価格:サーバーライセンス

は、630,000 円(税込み)。クライアントライセンスは、10,500 円から(1ユーザにつき1ライセンスが必要)。

一方、多地点間同期オプションについて。(1)中継サーバ基本ライセンス:315,000 円(2 セグメントまで)、(2)中継サーバ追加ライセンス:105,000 円(3 セグメント以上で利用する場合の追加ライセンス。1 セグメント分)。

なお、別途、保守費用が必要となる。導入サービスも提供する。また、Web コア Conference および多地点間同期オプションには、それぞれ LinuxPC サーバが必要。その他、サーバ、無線 LAN 環境、Apple 社製 iPad、富士通製 Android タブレット、Windows 端末は別途ユーザにて用意することとなっている。動作確認機種等について同社に確認要。

販売開始日は、8 月 9 日。出荷開始日は、9 月 20 日。2 年間で 120 ユーザの販売目標。

## 導入・利用動向-国内

SOBA プロジェクトの SOBA mieruka、「コニカミノルタ Presents 天空未来教室」にて採用

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社の Web 会議・中継システム「SOBA mieruka」(ソーバ・ミエルカ)が、8 月 9 日開催の宇宙交信イベント「コニカミノルタ Presents 天空未来教室」で採用されたと発表。(8 月 7 日)



コニカミノルタ Presents 天空未来教室  
(SOBA プロジェクト 資料)

コニカミノルタ Presents 天空未来教室は、(財)日本宇宙少年団(YAC、8 月 1 日より公益財団法人日本宇宙少年団として登記申請中)主催のイベント。このイベントでは、国際宇

宙ステーション(ISS)に長期滞在する星出彰彦 宇宙飛行士と各会場の子供達(小学1年生から中学3年生)が直接交信・会話し、宇宙を身近に感じてもらうことを目的としている。

SOBA プロジェクトの「SOBA mieruka」は、2011年の同イベントに引き続き2度目の採用となった。当日は、東京、大阪、広島各会場を中継し、国際宇宙ステーションにいる星出宇宙飛行士と地上との交信をサポート。またイベントの様子の一部はWebによるライブ放送も。

共催は、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、堺市教育委員会、財団法人広島市未来都市創造財団。特別協賛は、コニカミノルタホールディングス株式会社。協力は、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、公立大学法人大阪府立大学、日本サブウェイ株式会社。

公益財団法人日本宇宙少年団 <http://www.yac-j.or.jp/>

## セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現! 『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程:9月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)  
 ※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催  
 会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)  
 主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ  
 詳細・申込:  
<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

ソニービデオ会議システムPCSシリーズご利用ユーザー様限定 特別イベント

日時:9月4日(火)/5日(水)  
 会場:ソニー株式会社(品川本社)特設会場(東京都港区)  
 主催:東通産業株式会社  
 詳細・申込:[http://www.totsu.jp/topics\\_detail1/id=303](http://www.totsu.jp/topics_detail1/id=303)

< 海外 >

The Third Annual Conference  
 Collaboration Your Way

日時:10月22日~24日  
 会場:米カリフォルニア州モントレー  
 主催:VCI-Group  
 詳細・申込:<http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>

The WR UC&C Summit - Singapore 2012

日時:11月28日-29日  
 会場:シンガポール、Conrad Centennial Singapore  
 主催:Wainhouse Research, LLC  
 詳細・申込:  
<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=491>

## 定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

また、先日8月4日には、これまでのPCからの閲覧に加えて、スマートフォンやタブレットからも閲覧できるようになりました。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版

2003年-2011年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

2012年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/2012/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/2012/)

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくための機会への窓口にもなっています。

カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

\*遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

\*この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

昨夜、窓を開けると涼しい風とともに秋の虫の鳴き声が聞こえてきました。秋の気配が近づいてきていますね。

次号もよろしくお願致します。

橋本啓介